

られるほどの、また、朝日地区の野越しを越えた形跡が見受けられるほどの近年にない大雨でありました。実際に脊振町廣滝地区では1時間雨量62^{ミリメートル}を記録する雨であり、地球温暖化など最近の気象現象が大きく変化している報道と、今日の神埼市の土地利用状況などを考えると、市内河川の治水対策は、安全、安心のまちづくりのために極めて重要な課題であると改めて考えております。

また、環境用水の問題、水没



▲7月20日の城原川の様子

地域の生活保障の問題、地域振興計画策定、環境問題など関係地域の皆さんと話し合いながら、国や県に対し要望すべきは要望して、より良いまちづくりに努めてまいります。

九州新幹線西九州ルートと

地域の安全性について

市議会6月定例会の一般質問において、2名の議員から九州新幹線西九州ルートについての質問が行われ、市長の考えた方を求められました。

松本市長の基本的な考え方は次のとおりです。

○神埼市への影響について

市長は、九州新幹線西九州ルートの実現は、神埼市にとって特段のメリットはなく、神埼市の在来線を時速130kmで通過する特急列車が30本多くなることから、その分だけ踏み切りでの交通渋滞と危険性の増大が予想されるとしています。

○賛成・反対について

市長は、西九州に位置する自治体として、西九州の高速交通網の整備に寄せられるいろいろな角度からの期待に対し、反対はできないが、神埼市への予想される影響から、積極的に推進することも一考を要することとしています。

○市長の主張について

市長は、7月17日に発足した

「九州新幹線西九州ルート地域振興連絡協議会」の設立準備段階において、この協議会が地域振興事業を優先するのではなく、踏み切りの拡幅、立体交差整備など関係地域の安全・安心の確保に関する事業の取り組みを主張しました。

この結果、この協議会の目的および事業内容は、次のとおり取り決められています。

◎目的

協議会は、九州新幹線西九州ルートに関し、地域の振興と産業経済の活性化、関係住民の利便性の向上および安全性の確保を図ることを目的とする。

◎事業

- (1) 関係地区内の地域振興事業等の円滑な推進
- (2) 関係地区内の安全・安心の確保に関する事業
- (3) 関係地区内の行政および民間団体の相互連絡調整
- (4) 新幹線にかかる情報収集および調査研究
- (5) その他、協議会の目的達成に關する事業

九州新幹線『西九州ルート』とは・・・

九州新幹線『西九州ルート』とは、博多 長崎間を走る新幹線のルートのことです。現在の計画では、博多 新鳥栖（仮称）間は九州新幹線、鹿児島ルート（新鳥栖（仮称） 武雄温泉間（神埼駅が含まれます）は今の在来線をそのまま使い、武雄温泉 長崎間は新しいルートを作ることとなっています。

また、九州新幹線には2つのルートが計画されており、九州新幹線『鹿児島ルート』は、新八代 鹿児島中央間が開通し、現在博多 新八代間が建設中です。

詳しくは、佐賀県のホームページ（<http://www.pref.saga.lg.jp/>）に掲載されていますので、ご覧下さい。

● 回答

城原川は、河川整備基本方針に対応した流量（690^{立方メートル}/秒）のうち、河川による流下水量330^{立方メートル}/秒を河川整備で対応し、360^{立方メートル}/秒を城原川ダムで対応するとしてあるが、災害から地域住民を守り、安全で安心して居住できるように、河川整備計画（案）に基づき、早急な整備が必要であります。

河川整備計画（案）全体としての意見は、この案に沿った方向で了承します。

● 要望

城原川の整備については、市民の安全、安心を軸とする、災害の未然防止のため、一刻も早い堤防の整備や河道掘削を実施し、周辺地域の諸問題等を解決するため、特段の配慮をお願いします。

また、今回の河川整備計画（案）での城原川ダム整備については、計画地区及び流域の十分な合意形成を得るため格段のご配慮をお願いし、特に住民への生活環境等の影響を及ぼさないようお願いするとともに、同整備に関連する地域振興の支援を要望します。